

# 光風緑 Hannan

2008年 9月

日本医療機能評価機構認定病院  
〒599-8263 大阪府堺市中区八田南之町277番地 電(072)278-0381 内(072)277-2261 URL http://www.hannan.or.jp

理念 愛の心で医療に奉仕を 和の心で総力一致を 励む心で創意工夫を

## 夏祭り

8月22日(金)は恒例の夏祭り。朝から模擬店の販売を始めているお店もあり賑やかそのもの。午前中には全ての模擬店が勢ぞろいし、デイケアのメンバーさんや患者さんも続々と目当ての店に…。なんとお昼に完売した模擬店もあり!? 例年より涼しいものの、熱気いっぱいの日でした。



夕刻からはやぐらの周りで盆踊りが始まり浴衣姿の患者さんや職員、近隣の方が一緒になって楽しみました。途中の花火では大きな歓声があがり、皆さんその美しさに釘付けでした。崖の上のポニョを伴奏にした踊りありと、今年も趣向を凝らした内容でした。

### 基本方針

**人** 権を重んじ、患者さんやご家族の「心のふるさと」になれるよう、患者さんの立場に立ったやさしい医療をおこないます。

**最** 新の医療知識と技術を身につけ、予防から急性期治療・リハビリテーション・在宅支援まで継続的な質の高い医療を提供します。

**光** と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

**地** 域の拠点病院として、行政機関や病医院・地域の方々と連携し、保健・医療・福祉に貢献します。

**信** 頼される医療サービスを提供するために、経営の健全化につとめ、すぐれた医療従事者を育てます。

院内

## 花だより

院内の花が一段と美しく咲き競う季節です。  
美しい花の季節をお楽しみください。

## 光風緑

### すいふよう 酔芙蓉

種類 アオイ科 落葉低木

芙蓉の園芸品種で、朝に白い花を咲かせますが、午後になるとだんだんピンクにかわり、夕方から夜にかけてさらに赤くなり、翌朝にはしぼんでしまいます。このため「酔う芙蓉」と言われつけられた名前です。



8:00am



2:00pm

### 外来診察表

外来診察時間 / 9:00 ~ 12:00(受付は11:30まで)

	月	火	水	木	金	土
診察	2 診	黒田	中井		横田	黒田 横田
	3 診	松島	野村	松島	野村	横井 横井
	5 診	西側	梶本	植田	梶本	西側 植田
	6 診	西村	山田	西村	三秋	相馬
	7 診	白濱	清水	吉田	中井	清水
睡眠外来	黒田	黒田・野村	野村	野村	黒田	黒田
小児精神科外来	横田	横田		横田	横田	横田
専門外来	往診相談 外来	女性外来	口腔心身症 外来	物忘れ 外来		

専門外来(睡眠・小児・往診・女性・物忘れ・口腔)は予約制です  
医療機関からの入院・転院のご相談は  
地域医療連携室で承ります。

電072-278-0381 内072-281-6615



### 診療科目

精神科 心療内科 内科

### 病床数

精神科救急入院病棟50床(C1病棟)  
精神科急性期治療病棟109床(B1,E1病棟)  
亜急性期病棟120床(B2,C2病棟)  
メンタルケア病棟51床(E3病棟)  
リハビリ病棟60床(E2病棟)  
老年期精神疾患病棟120床(D1,D2病棟)  
合併症病棟60床(D3病棟)  
精神療養病棟120床(F2,F3病棟) 計690床

### 看護体制

精神科病棟 15:1 急性期病棟 13:1 スーパー救急 10:1  
看護師比率70%以上・看護補助 10:1

### 関連施設紹介

訪問看護ステーションふれあい  
居宅介護支援事業所  
ヘルパーステーションはんず  
ケアホーム/こもれび・青空・つばさ・そよかぜ  
堺市中区八田南之町277 阪南病院内 電072-278-0381  
ケアホームあんずの郷  
堺市中区八田北町309 電072-278-2233  
地域生活支援センターゆい  
堺市中区深井東町3134 電072-277-9555



編集・発行 医療法人杏和会 阪南病院 地域医療連携室&総務課広報「光・風・緑」チーム

## 「くすり」を正しく使うことには、どんな意味があるの?

おくすり教室

### お薬の 飲み方と 注意点⑧

「くすり」を出しておきますから、様子をみてみましょう」「医師から、そう言われたことはありますか?様子をみるといふ言葉には、処方したくすり効果があがるのか確認したい、という意味があります。

もし、その「くすり」で症状が改善されない場合、医師はくすりの量をかえたり、違う種類の「くすり」にかえるかといった判断をします。このとき、医師の判断には、患者さんがくすりを正しく使っていることが前提となります。

患者さんがくすりを正しく使っていると、正確な情報が医師に伝わります。

情報が正しければ、的確な判断ができ、患者さんの病気の治療へとつながります。

患者さんがくすりを飲んでいなかったり、勝手に減らしたり、増やしたりして飲んでいたり、医師は処方したくすりが効いているのかどうか?判断できません。

その結果、治療が長引いたり、医師の判断を誤らせたりして患者さん自身が苦しむことになりまねません。

「くすり」を正しく使うことは、  
「くすり」を正しく使っている人は、  
なによりもまず、  
患者さん自身のためなのです!



## 「アートインホスピタル」

「病院は人間にとって最も美しく優しい場所であってはならない」という理念のもと、アートをもって癒しを与える、アートインホスピタル。第一人者のアナグリウスケイ子先生の講演をきっかけに実際にF棟待合周辺と玄関周りからアートを取り入れることとなり、8月25日作品の取り付けを行いました。

今回のテーマは「花」。蝶々にも見える躍動感のあるもので布地にキルトを縫った温かみのある作品。写真は玄関に入った正面にキルトを、再診受付にも同様のものを飾りました。少しずつ患者さんがほっとできる空間、環境作りに取り組んでまいりたいと思います。



## 第4回 研究発表会



9月13日(土)第4回研究発表会が開催されました。研究発表会は毎年1回、院内各部署からの、研究や取り組みを発表するもので、今年は11題が発表されました。観客側最前列には理事長、院長を始めとする審査員7名が着席し、内容やプレゼンテーションについて審査をします。今年もアンケートに基づく報告が多く、スタッフの意識調査や外来患者さんへの調査結果など興味深いものが揃いました。土曜日の午後からの発表にもかかわらず、総勢110名が参加しました。



研究発表会は、平成17年より開催し、今年4回目を迎えました。「病院は臨床の場であると同時に研究、教育の場でなければならない」という院長の強い思いの中、当院は院内に独立棟の図書館ができた、研究発表会が開催されたり、様々なTRYを重ねています。今年のグランプリは外来の「外来環境を考える」アンケート調査を行なって「準グランプリは看護部療養病棟の「閉鎖から開放へ」調査から見えた当病棟の課題」が決まりました。年々レベルアップしている研究発表会ですが、発表するための研究ではなく、日々の業務を振り返り、考え、課題に向けて取り組みことが重要です。

### 喫煙場所のお知らせ

当院では、施設外の喫煙場所を以下2ヶ所設置し、完全分煙に取り組んでおります。趣旨ご理解の上、喫煙場所以外での喫煙はご遠慮ください。



きれいな空気美しい環境に  
ご協力ください!

